

日本災害情報学会 第8回学会大会プログラム

当日用

- 東洋大学 白山校舎 -

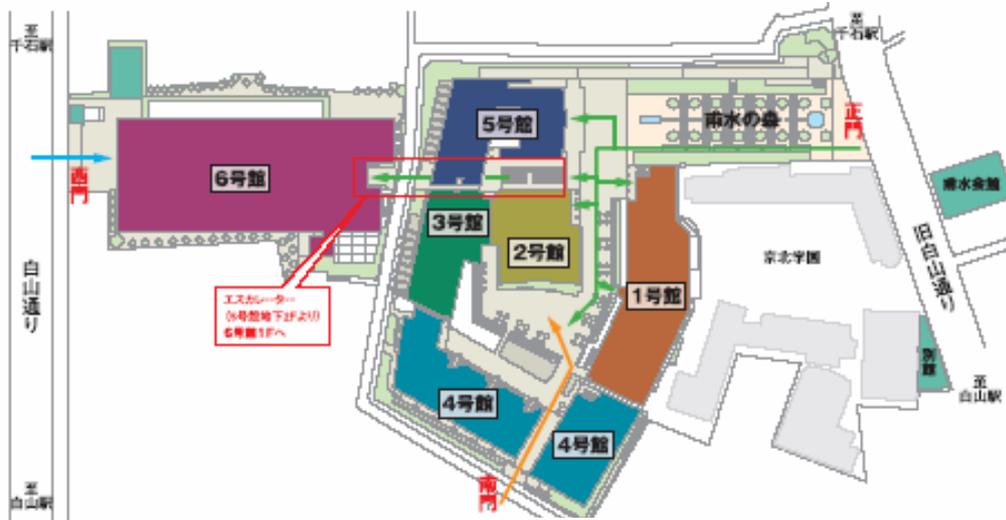
10月28日(土)	受付開始	8時45分～
	開会	9時30分～
	研究発表会	9時35分～12時10分
	昼休み	12時10分～13時10分
	理事会	12時10分～13時10分
	研究発表会	13時10分～17時50分
	懇親会	18時20分～20時00分
10月29日(日)	受付開始	9時00分～
	研究発表会	9時30分～12時05分
	昼休み	12時05分～13時10分
	総会	13時10分～13時40分
	メディアセッション	13時55分～17時00分
	閉会	17時00分～17時10分

会場：東洋大学白山校舎 6号館 2階 参加費：会員 1,000 円 (非会員 3,000 円)

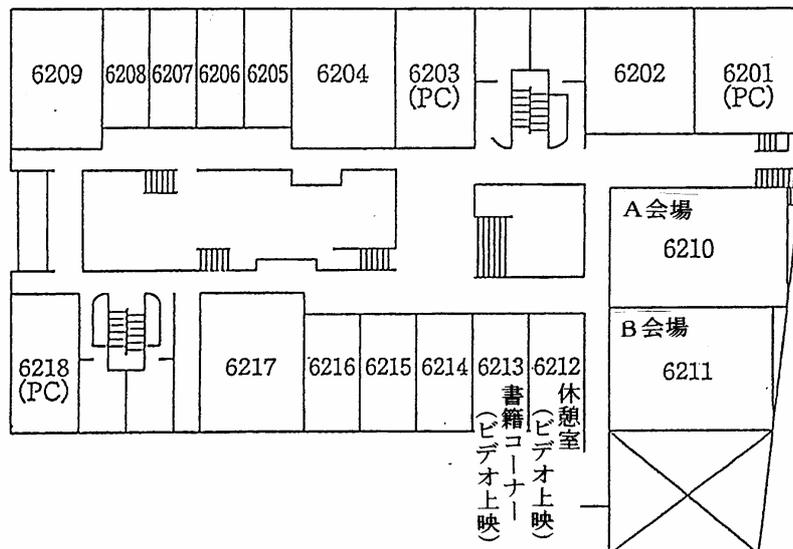
予稿集代：会員 2,000 円 (非会員 4,000 円)

懇親会会場：東洋大学白山校舎 2号館 16階スカイホール 懇親会費：5,000 円

【大会会場】白山キャンパス全体図



6号館 2 F



10月28日(土)

進行：川端信正(静岡県地震防災センター)

【開会】 9時30分 挨拶 阿部勝征 日本災害情報学会会長

【研究発表会】 (発表10分 質疑5分)

A会場(6210教室) 災害報道・災害情報

午前の部 9時35分～10時50分 (座長 金井昌信)

09:35 「ハリケーン・カトリーナ水害における地元紙の取り組み」

安富 信(読売新聞) 大野 淳(人と防災未来センター) 永松伸吾(同)
越山健治(同) 近藤民代(同) 近藤伸也(同)

09:50 「ハリケーン・カトリーナ災害における状況認識の統一に関する研究

- フロリダ州の Common Operational Picture を事例に - 」

近藤民代(人と防災未来センター) 越山健治(同) 永松伸吾(同) 近藤伸也(同)

10:05 「防災教育の観点からみた災害報道の課題 - 2004年インド洋津波災害を事例として - 」

金井昌信(群馬大学) 片田敏孝(同)

10:20 「世界災害共通番号(G L I D E)普及プロジェクト

(フィリピンにおける災害データベースの構築)」

中野 元(アジア防災センター) 鈴木弘二(同) 角崎悦子(同)

10:35 「アジアの自然災害情報を活用したリスクマネジメント」

渡部弘之(アジア防災センター) 鈴木弘二(同)

矢代晴美(東京海上日動リスクコンサルティング株)

休憩 10:50～10:55

午前の部 10時55分～12時10分 (座長 森 康俊)

10:55 「2005年7月千葉県北西部地震と災害通信の問題」

中村 功(東洋大学) 福田 充(日本大学) 中森広道(同)
関谷直也(東京大学)

11:10 「災害・救急医療における情報通信の諸問題 - 消防本部と緊急病院に対する全国調査から - 」

森 康俊(関西学院大学) 福田 充(日本大学) 中村 功(東洋大学)

11:25 「災害時の安否確認に関する情報通信の利用実態について」

深澤 亨(株KDDI総研) 中村 功(東洋大学) 関谷直也(東京大学)

福田 充(日本大学) 中森広道(同) 森岡千穂(東京大学大学院) 地引泰人(同)

廣井 悠(同)

11:40 「災害時における避難情報提供のあり方に関する一考察」

平山修久(人と防災未来センター) 越山健治(同)

河田恵昭(京都大学防災研究所)

11:55 「広域的災害情報共有システムの実用化に向けて」

湯瀬裕昭(静岡県立大学) 干川剛史(大妻女子大学)

昼休み・理事会 12時10分～13時10分

A会場(6210教室) 防災教育・防災情報システム・防災対策

午後の部A - 13時10分～14時40分 (座長 吉川肇子)

13:10 「防災教材『ぼうさい駅伝』の開発」

吉川肇子(慶應義塾大学) 首藤由紀(社会安全研究所)

細川顕司(財)市民防災研究所) 矢守克也(京都大学防災研究所)

- 13:25 「クロスロード - 新バージョンの開発とその意義 - 」
矢守克也(京都大学) 吉川肇子(慶応大学) 鈴木清史(帝塚山学院大学)
- 13:40 「災害時における地方自治体の広報戦略に関する考察
~人と防災未来センター「図上訓練・マスコミ演習」を題材として~」
川西 勝(人と防災未来センター) 安富 信(読売新聞)
永松伸吾(人と防災未来センター) 近藤民代(同) 近藤伸也(同)
- 13:55 「教育工学を取り入れた防災研修・訓練設計のあり方
- 人と防災未来センター図上訓練・マスコミ演習を題材として - 」
近藤伸也(人と防災未来センター) 永松伸吾(同) 近藤民代(同) 川西 勝(同)
安富 信(読売新聞)
- 14:10 「災害対応能力をどう鍛えるか
- 人と防災未来センター図上訓練・マスコミ演習を題材として - 」
永松伸吾(人と防災未来センター) 近藤伸也(同) 川西 勝(同)
安富 信(読売新聞)
- 14:25 「携帯電話基地局情報を活用した交通流監視システムの可能性と課題」
八木浩一(災害時交通流監視システム研究会)

休憩 14:40 ~ 14:45

午後の部A - 14時45分 ~ 16時15分 (座長 高橋佳奈)

- 14:45 「都市ガスの災害対応における情報共有マネジメントシステムの活用」
山内亜希子(東京ガス株) 綿引大作(同) 菜花健一(同)
- 15:00 「携帯メールを用いた情報配信による被害状況の共有化」
山内亜希子(東京ガス株) 綿引大作(同) 菜花健一(同)
- 15:15 「メールを活用した初動体制の確立 - 職員参集システムの事例 - 」
六車巧治(財)日本気象協会) 竹下 航(同) 原田恒夫(同)
- 15:30 「『本当に必要な防災情報とは何か』
- 受け手にとって有用な情報の発掘をめざして - 」
高橋佳奈(株)野村総合研究所) 近藤伸也(人と防災未来センター)
- 15:45 「伊豆の観光施設における防災対策の現状と
Web GIS を用いた新たな防災対策の試みについて」
市居嗣之(工学院大学) 村上正浩(同) 久田嘉章(同)
生井千里(株)インフォマティクス) 佐藤 忠(伊豆観光施設協議会)
- 16:00 「防災に効果のある市・区の防災情報システム - 水防目的の最近の首都圏内の事例から - 」
原田恒夫(財)日本気象協会) 齋藤智興(同) 竹下 航(同)

休憩 16:15 ~ 16:20

午後の部A - 16時20分 ~ 17時50分 (座長 蔡 垂功)

- 16:20 「異なる発信元からの災害リスク情報の相違と
相互運用による活用方策に関する研究」
臼田裕一郎(独)防災科学技術研究所) 長坂俊成(同) 増田和順(同)
前川佳奈子(株)まちづくり島田)
- 16:35 「e コミュニティプラットフォームを活用したリスクガバナンスの実践
- 藤沢市の事例 - 」
長坂俊成(独)防災科学技術研究所) 臼田裕一郎(同)
中根和郎(同) 増田和順(同) 池田三郎(同)
水島三千夫(藤沢災害救援ボランティアネットワーク)

- 16:50 「組織内に於ける災害情報共有手法について - 災害情報共有プラットフォームの構築 - 」
小原弘志（国土技術政策総合研究所） 山本剛司（同） 金澤文彦（同）
小路康広（同）
- 17:05 「地域防災力向上に備えた外国人に対する防災情報の提供 - 事前対応の視点から - 」
蔡 垂功（有馬町ふれあいのまちづくり協議会「有馬文庫」）
- 17:20 「『我が家の防災力』の測定内容と静岡市の例」
井野盛夫（富士常葉大学）
- 17:35 「地域密着型災害情報ウェブサイト構築の研究
～地域の特殊性と時系列を考慮した災害情報提供を目指して～」
今福珠英（東京理科大学） 山本 栄（同）

B会場(6 2 1 1教室) 津波・土砂災害・風水害・火山災害・危機管理

午後の部B - 13時10分～14時40分（座長 天野 篤）

- 13:10 「首都圏共同溝等ネットワークを活用した首都圏直下地震及び
都市ヒートアイランド現象防止に関する提案」
小池 正（NPO 法人あらかわ学会）
- 13:25 「成人自閉症者施設における災害避難計画と地域」
北村弥生（国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所） 河村 宏（同）
- 13:40 「土砂災害情報に関する防災担当者の意見、意識の紹介 - 平成 17 年 9 月台風による土砂
災害に関するヒヤリング及びアンケート調査結果より - 」
千田容嗣（財）砂防・地すべり技術センター） 黒川興及（同） 小林威文（同）
- 13:55 「中山間集落における大雨避難 - 台風 0514 号時の宮崎・大分県下の事例 - 」
天野 篤（アジア航測株） 藤吉洋一郎（大妻女子大学、NHK 解説委員）
水上知之（三重県） 湯川典子（アジア航測株）
- 14:10 「2005 年台風第 14 号時における土砂災害警戒情報の運用と住民の対応」
高橋和雄（長崎大学） 河内健吾（京都大学大学院） 中村聖三（長崎大学）
- 14:25 「台風 0514 号における住民への避難情報の伝達に関するアンケート調査」
村上啓介（宮崎大学） 杉尾 哲（同）

休憩 14:40～14:45

午後の部B - 14時45分～16時15分（座長 中根和郎）

- 14:45 「洪水等に関する防災情報体系の見直しについて（事例報告）」
齋藤博之（国土交通省） 田中 淳（東洋大学）
- 15:00 「洪水を対象としたロールプレイング演習の課題と改善方策」
生嶋隆造（財）河川情報センター） 岡山知生（同）
- 15:15 「消防団の水害対応活動 - 2004 年 7.13 新潟豪雨洪水災害における活動事例 - 」
六十里繁（CUC 市川研究機構）
- 15:30 「都市雨水排水区域における実時間浸水危険度予測情報」
中根和郎（独）防災科学技術研究所） 松浦玲子（同） 長坂俊成（同）
- 15:45 「都市型洪水ハザードマップにおける地形表現の必要性について」
遠藤宏之（株）東京地図研究社）
- 16:00 「非住居者を対象とした防災ワークショップの効果に関する定量的検討」
牛山素行（岩手県立大学） 柏木紀子（同） 佐藤聖一（同） 佐藤庸亮（同）
吉田淳美（同）

休憩 16:15～16:20

- 午後の部B - 16時20分～17時35分 (座長 岡田 弘)
- 16:20 「雲仙火山災害対策従事者の安全問題と住民利益(事例報告)」
松下英爾(島原市災害対策課)
- 16:35 「雌阿寒岳 2006年の小噴火と火山情報の課題」
岡田 弘(北海道大学)
- 16:50 「火山防災マップ改訂の特徴と今後の方向性」
安養寺信夫(財)砂防・地すべり技術センター) 吉田真也(同) 山中和雄(同)
池谷 浩(同)
- 17:05 「登別市が全戸配布した防災マップ」
宇井忠英(環境防災総合政策研究機構)
- 17:20 「津波経験地域における住民の危険認知について」
吉田淳美(岩手県立大学) 牛山素行(同)

10月29日(日)

進行：村木正顕(ニッポン放送)

【研究発表会】 (発表10分 質疑5分)

A会場(6210教室) 地震災害

- 午前の部 9時30分～10時50分 (座長 陶野郁雄)
- 09:30 「志賀原発差し止め判決の疑問点」
伯野元彦(攻玉社工科短期大学)
- 09:45 「福岡県西方沖地震の震動体感とその影響」
磯 望(西南学院大学) 黒木貴一(福岡教育大学) 後藤健介(長崎大学)
- 10:00 「液状化したところは何度も液状化する可能性が高い」
陶野郁雄(山形大学)
- 10:15 「障害者・高齢者の防災力を高める情報支援 - 北海道浦河町の事例から - 」
河村 宏(国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所) 我澤賢之(同)
八巻知香子(同) 山根耕平(同) 太田順子(同) 濱田麻邑(同)
- 10:30 「リアルタイム津波情報システム活用方策の検討」
越山健治(人と防災未来センター) 河田恵昭(同) 越村俊一(東北大学)
原田賢治(人と防災未来センター) 鈴木進吾(同)

休憩 10:45～10:50

- 午前の部 10時50分～12時05分 (座長 鷹野 澄)
- 10:50 「超高密度リアルタイム地震防災システム(SUPREME)の活用事例
～平成17年7月23日千葉県北西部地震～」
山内亜希子(東京ガス株) 菜花健一(同) 綿引大作(同)
- 11:05 「緊急地震速報の本運用に向けて」
斉藤 誠(気象庁) 関田康雄(同) 吉野昌史(同)
- 11:20 「『緊急地震速報』と人々の意識に関する予備的研究」
中森広道(日本大学)
- 11:35 「学校における緊急地震速報と連動した防災教育・訓練支援システムの地域展開」
本間 誠(東北大学大学院) 源栄正人(同) 眞鍋俊平(同)
- 11:50 「利用者が必要とする緊急地震速報の利活用システムとは？」
鷹野 澄(東京大学地震研究所)

昼休み 12時05分～13時10分

【災害情報コンテンツ上映】 9時30分～13時40分 6212、6213教室

【総会】 13時10分～13時40分 A会場(6210教室)

休憩 13:40～13:55

【メディアセッション】 A会場(6210教室) (発表15分 質疑5分)

- 部 13時55分～15時20分 自治体とライフライン (座長 山崎 登)
- 13:55 メディアセッションについて
山崎 登(NHK 解説委員)
- 14:00 「ビデオ『安心・安全をつなぐNTT 東日本』」
東方幸雄(NTT 東日本)
- 14:20 「大地震発生時、社員が確実に安否確認を実施することを主眼としたビデオ作成について」
南雲 敦(JR 東日本)
- 14:40 「東京都総合防災訓練」
菊地俊夫(東京都)
- 15:00 「荒川下流域での IT ツールを用いた防災訓練」
岩田美幸(国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所) 長野拓朗(同)
布村明彦(国土交通省河川局河川計画課)

休憩 15:20～15:30

- 部 15時30分～17時00分 放送局 (座長 谷原和憲)
- 15:30 「平成17年12月22日の新潟大停電の対応について」
羽原順司(NHK 新潟放送局)
- 15:50 「新潟県中越地震 地域を支えたケーブルテレビの災害情報」
佐藤明弘(長岡ケーブルテレビ)
- 16:10 「災害情報共同放送『ラジオ災害情報交差点』～在京ラジオ7局の共通放送～
(在京ラジオ災害情報担当者会議)」
高橋民夫(文化放送) 西原暢孝(J-WAVE) 村木正顕(ニッポン放送)
- 16:30 「緊急特番 7・22 鹿児島県北部豪雨災害 ローカル局の災害報道 現状と課題」
有馬正敏(MBC 南日本放送)
- 16:50 メディアセッションの講評
藤吉洋一郎(大妻女子大学・NHK 解説委員)

【閉会】 17時00分 挨拶 田中 淳 第8回学会大会実行委員長

《発表をされる方へのお願い》

- ・ 会場のPCをご使用の方は、遅くとも各セッション開始前までに、電子データを係の者まで提出ください。
- ・ 研究発表時間は10分です。8分(残り2分)で1鈴、10分(終了)で2鈴を鳴らします。くれぐれも時間厳守をお願いします。メディアセッションは、13分で1鈴、15分で2鈴です。
- ・ 「災害情報コンテンツ上映」は、メディアセッションで発表する映像等のフルバージョンを中心に2会場で流すもので、発表者はずきません。なお、当日、上映番組表を掲示・配布します。